

収蔵資料展

—花鳥画を中心として—

花鳥画のなかでも「梅にうぐいす」など四季の代表的な花と鳥を組み合わせた四季花鳥は、四季ごとに掛け変えられ、楽しまれてきました。また、百木の長で、四季常に緑を保つ松などは、長寿を祝う画題として用いられてきました。

本展示会では、当館の収蔵資料である米山朴庵や藤井霞郷、田中蘭谷ら郷土の画家たちの作品の中から、花鳥画を中心とした新春にふさわしい作品を展示いたします。

四季の変化を写し取って人々の日々の生活を豊かに彩り、また人生の祝典の場を華麗に演出してきた花鳥画を、この機会に鑑賞していただければ幸いです。

また、先月の広報で紹介したとおり、今回の展示では三枝雲岱の描いた「田原飛瀑」の公開とともに田原の滝にスポットを当てます。白根の滝、白滝とも呼ばれるこの名瀑は、多くの文人によって詠われ、描かれてきました。河畔には飯田蛇笏の書による芭蕉の句碑や、文人として日本各地を旅した藤堂良道の詩碑が建てられています。

田中蘭谷「松上之鶴」



藤堂良道の詩碑

会期	1月4日(金)～27日(日)
開館時間	午前9時～午後4時30分 (入館は4時まで)
休館日	1月7日・15日・21日
入館料	一般 300円(210円) 高校・大学 200円(140円) 小・中学生 100円(70円)
()内は、	20名以上の団体料金

本年度の「市民の手による企画展」

『郷土玩具展』に決定！

12月2日、ミュージアム都留において、平成13年度市民学芸員の委嘱式並びに第1回打合せ会議が開催されました。

市民学芸員は、市民参加型の博物館運営を目指して開催しております「市民の手による企画展」の企画・調査・展示などに関わっていただくボランティアの方々です。

今回は6月広報にて公募した市民および都留文大生、計12名にご参加いただきました。

会議では、企画展の展示テーマなどについて話し合いが行われ、市内在住の奥隆行氏が長年にわたり収集してこられた全国の郷土玩具を中心とした、「郷土玩具展」を開催することとなりました。

企画展名 「郷土玩具展」
期 間 2月2日(土)～24日(日)

古賀人形(長崎県)



「阿茶さん」



「オランダやん」

ミュージアム寺子屋講座のお知らせ

『郷土玩具展』の関連イベントとして、甲府在住の民芸作家、斎藤岳南氏の指導による「郷土玩具づくり教室」を開催いたします。ぜひご参加ください。

日 時 2月10日(日)

午後1時30分～3時

場 所 ミュージアム都留 エントランスホール
参加費 500円(材料費)



申込・問合せ

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45)8008

☎(45)8608